

令和6年度 第5回理事会

日 時：令和6年8月9日（金） 16：10～

場 所：林木育種センター（日立市）大会議室

I．報 告

- 1．森林総合研究所十日町試験地の林業遺産認定について〔広報普及科〕
- 2．障害者の雇用状況について（報告）〔総務部長〕
- 3．令和6年度第1回水源林造成業務リスク管理委員会概要（非公表）
〔森林整備センター〕
- 4．「令和6年7月9日から的大雨災害にかかる災害救助法の適用について」にかかる
森林保険事務の対応について〔森林保険センター〕

II．その他

- 1．今後の主な会議・行事予定について
- 2．主要行事
- 3．森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

森林総合研究所十日町試験地の林業遺産認定について

森林総合研究所十日町試験地（新潟県十日町市）は1917年の設立当初から100年以上にわたって雪や気象の観測を継続し、その観測記録原簿（気象月表原簿）が保管されてきました。また、早くから積雪や雪崩の研究に着手し、実験斜面に沿って造られた地下道を活用した先駆的な研究により、日本の雪崩災害防止対策や多雪地における林業技術の開発に重要な役割を果たしてきました。

これらの価値が認められ、2024年5月22日に森林総合研究所十日町試験地の観測記録原簿および積雪観測用地下道が、一般社団法人日本森林学会の「林業遺産」に認定されました。

林業遺産の選定は、日本の林業の歴史を将来にわたって記録していくために、日本森林学会が実施している事業であり、各地の林業発展の歴史を示す景観、施設、跡地等、ならびに体系的な技術、特徴的な道具類、古文書等の資料群について、日本森林学会が認定するものです。



観測記録原簿（気象月表原簿）



地下道に現在も残る積雪移動量記録装置の滑車

森林総合研究所十日町試験地の紹介

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/tkmcs/index.html>

十日町試験地_特設サイト『林業遺産』に認定

https://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/tkmcs/tkmcs_heritage_j.html

「林業遺産」について（日本森林学会のサイトへリンク）

<https://www.forestry.jp/efforts/forestryheritage/>

I - 2

理 事 会 資 料

令和6年 8月 9日

総 務 部 長

障害者の雇用状況について（報告）

「障害者の雇用の促進等に関する法律」において、国・地方公共団体の事業主は、その雇用する労働者に占める身体障害者・知的障害者の割合が一定率（法定雇用率）以上になるよう義務づけられている。

当機構（国・地方公共団体等に分類）の法定雇用率は2.8％であるのに対し、本年6月1日時点（法に基づく報告日）での雇用率は3.68％（前年度は3.59％）となっている。

「令和 6 年 7 月 9 日からの大雨災害にかかる災害救助法の適用について」にか
かかる森林保険事務の対応について

1. 概 要

令和 6 年 7 月 9 日からの大雨災害により、災害救助法が適用された地域を対象
に、森林保険契約の継続手続きの猶予措置を定めた通知を発出（別添）。

2. 通知内容

○保険契約者が保険期間満了の 30 日前までに継続による契約の申込みができな
かった場合であっても、令和 6 年 12 月 28 日までに申出があった場合は、同日ま
で継続による契約の締結手続きを猶予。

○猶予期間内に保険料を添えて継続による契約の申込みが行われた場合は、前回
契約と同一の契約条件により、前回契約の満了日をもって継続による契約が成立
したものとする。

○今後、今回の災害とは異なる災害において災害救助法を適用する決定がされた
場合等にも同様の対応とする。

3. 対 象

島根県出雲市（1 市）

4. 参 考

上記以降における、災害救助法の適用に伴う継続手続きの猶予措置については、
下記のとおり。

○令和 6 年 7 月 25 日からの大雨

（対象：秋田県の 6 市 2 町 2 村、山形県の 6 市 7 町 3 村）

別添

6 森 林 保 業 第 162 号

令和 6 年 7 月 1 1 日

道府県森林組合連合会 代表理事会長 様
東京都森林組合 代表理事組合長 様
大阪府森林組合 代表理事組合長 様
中はりま森林組合 代表理事組合長 様

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林保険センター所長 馬場 敏郎

「令和 6 年 7 月 9 日からの大雨災害にかかる災害救助法の適用について」
にかかる森林保険事務の対応について

令和 6 年 7 月 9 日からの大雨により災害が発生し、被害が生じた出雲市に対して、災害救助法を適用する決定がされました（別紙 1 参照）。

つきましては、出雲市に所在する森林を保険の目的とする保険契約及び出雲市を住所とする保険契約者又は被保険者の継続による保険契約について下記のとおり対応することとします。

また、今後新たに本災害において災害救助法を適用する市区町村が追加された場合及び令和 6 年 1 0 月 3 1 日までに今回の災害とは異なる災害において災害救助法を適用する決定がされた場合も同様の対応とします。

なお、出雲市の近隣等に所在する市町村で、今回の大雨による災害により森林保険の継続契約の手続きを行うことが困難と判断される事情がある場合は、森林保険センターに個別に相談して下さい。

記

保険契約者が保険期間満了の 3 0 日前までに継続による契約の申込みができなかった場合であっても、令和 6 年 1 2 月 2 8 日までに申出（別紙 2 参照）があった場合は、同日まで継続による契約の締結手続きを猶予します。

また、猶予期間内に保険料を添えて継続による契約の申込が行われた場合は、前回契約と同一の契約条件により、前回契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとします。

以上



令和 6 年 7 月 10 日
内閣府政策統括官（防災担当）

令和 6 年 7 月 9 日からの大雨災害 にかかる災害救助法の適用について

1. 災害の概要

令和 6 年 7 月 9 日からの大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、島根県は 1 市に災害救助法の適用を決定した。

災害救助法 適用市町村	法適用日	被害の状況等	備 考
【島根県】 出雲市 (いずもし)	7 月 9 日	令和 6 年 7 月 9 日からの大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じており、継続的に救助を必要としている。	災害救助法施行 令第 1 条第 1 項 第 4 号適用

2. これまでにとられた措置

- ・避難所の設置 等

本件問合せ先
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（被災者生活再建担当）付
阿部、新野、伊藤
TEL 03-5253-2111（内線51276）
03-3503-9394（直通）

【別紙 2】

令和 年 月 日

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 理事長 殿

森林保険に係る申出書

申出者住所：

申出者氏名： ㊞ (自署の場合は省略可)

森林保険に係る手続きについて、下記のとおり令和 6 年 1 2 月 2 8 日までの
猶予を申し出ます。

記

該当手続き：森林保険契約の継続手続き
理由：森林保険契約を継続し災害に対する補償を維持するため
証書番号：
保険契約者：
被保険者： (外 名)

Ⅱ－１

令和６年８月理事会資料
国立研究開発法人
森林研究・整備機構

今後の主な会議・行事予定について

日 付	研究	整備	保険	行 事 名	場 所 等
8月22日	○			森林講座「気候変動と森の病気」	多摩森林科学園森の科学館 (主催：森林総合研究所)
8月30日	○			北海道林業林産試験研究機関連絡協議会総会	北海道育種場（江別市） (主催：北海道支所)
9月5日 ～6日	○			四国林政連絡協議会	愛媛県武道館（松山市） (主催：四国森林管理局) (出席：四国支所長)
9月12日 ～13日	○			関西地区林業試験研究機関連絡協議会	石川県金沢市 (出席：関西支所)
9月13日	○			森林講座「野山の楽しみ：多彩なアクティビティの特徴と課題」	多摩森林科学園森の科学館 (主催：森林総合研究所)
9月28日	○			令和6年度森林総合研究所四国支所一般公開	四国支所 (主催：四国支所)

主要行事（令和6年7月5日～令和6年8月8日）

月 日	行 事 内 容	出 席 者
7月5日(金)	【共】理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、監事
19日(金)	【共】農林水産省国立研究開発法人審議会 第27回林野部会	理事長、各理事、森林保険センター所長
23日(火)	【研】ベトナム人招へい者表敬訪問	理事長
26日(金)	【研】夏の一般公開	
8月1日(木)	【研】多摩森林科学園視察	企画・総務・森林保険担当理事
2日(金)	【保】統合リスク管理委員会	企画・総務・森林保険担当理事、森林保険センター所長
5日(月)	庁議	理事長

※【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事の略

森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

○ 前月以降公開済の研究成果

	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	森林空間を利用した生活習慣改善で気分の改善効果が持続	タカヤマ ノリマサ 高山 範理 森林管理研究領域	日本森林学会誌	2024/02	
2	リュウキュウイノシシの個体数、スダジイ堅果豊作後に増加傾向	シマダ タカヤ 島田 卓哉 企画部	European Journal of Wildlife Research	2024/04	
3	41樹種の木材が軟化する温度、リグニン構造に関連	ミヨシ ユカ 三好 由華 木材加工・特性研究領域	Holzforschung	2024/01	
4	熱帯低地林で択伐後の地上部と細根の回復状況を明らかにした	ミヤモト カズキ 宮本 和樹 生物多様性・気候変動研究拠点	Tropics	2024/05	
5	スギコンテナ苗のあたまをよく撫でて、苗木の伸び過ぎを抑制	オガサ マユミ 小笠 真由美 関西支所	森林応用研究	2024/02	
6	越冬期の鳥類分布が気候変動下で大きく変化	カワムラ カズヒロ 河村 和洋 北海道支所	Bird Research	2024/05	
7	世界の森林の炭素吸収力は過去30年維持されてきた—今後さらなる取り組みが必要—国際研究チームによる解析—	ハシモト ショウジ 橋本昌司 立地環境研究領域	Nature	2024/07	プレスリリース

○ 最近のシンポジウム・イベント

	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	森林総合研究所関西支所令和6年度公開講演会「快適な春につなげる森林づくり—花粉症対策技術開発の現在—」	森林総合研究所関西支所地域連携推進室	森林総合研究所関西支所	京都市呉竹文化センター	7月10日(水) 13:30~16:30	
2	森林講座「木材と心理—木質空間の快適性を考える—」	森林総合研究所多摩森林科学園業務課	森林総合研究所	多摩森林科学園森の科学館(東京都八王子市)	7月11日(木) 13:15~15:00	
3	森林総合研究所 夏の一般公開	森林総合研究所企画部広報普及科	森林総合研究所	森林総合研究所	7月26日(金) 9:30~12:00 13:00~15:30	